



高校生たちと共に考える始良市の未来  
 私たちの未来を私たちで話し合う——。  
 あいら若者まちづくり会議のハイライトを一部お届け。

## 高校生たちとの まちづくり会議



令和4年8月18日(木)、始良公民館で、「あいら若者まちづくり会議」が開催されました。始良市内の高校・専門学校に通う、高校生・専門学生たちが委員となり、日頃生活の中で感じていることや「こうだったらいいな」と思うまちの姿についてファシリテーターを紹介しながら、市長と話し合いをしました。

「電車やバスの本数が少なく、部活動や授業の都合によっては利用しづらく不便である」、「ボーリング場やプール、バッテリーセンターといった体を動かすことのできる施設ができたら嬉しい」、「街灯が少なく、夜道を歩いていると不安になる」などの交通・商業・防犯といった様々な視点からの意見が出され、それに対するアンサーを市長が返しながら、議論を深めました。

「まちを成熟化させていくためには、まちを知ること、まちについて考え、デザインしていくことが重要」と会議の中でも示されていました。今回まちづくりについて話し合う中で深化されていった「今後のまちの姿」を市民・行政が一体となって成熟へと育まれていくことが一層期待されます。

### あいら若者まちづくり会議

次世代を担う若者を中心に、始良市のまちづくりについて自由に話し合う会議。高校生・専門学生たちが始良市が「こうだったらいいな」という自由な発想を出し、それに対して市長や大学教授が返答しつつ、意見交換を進める。

始良市  
湯元 敏浩 市長

第一工科大学  
石田尾 博夫 教授

